

Internet Explorer の今後について

IE11 ⇒ (edge) ⇒ new edge

現在 Windows10 では、Internet Explorer(IE)11 をサポート対象としています。最新の IE11 であることが大事です。先ずは、バージョンが、IE11 であるか否かを確認しておきましょう。



【確認方法：画面右上の 歯 (ツール) をクリック→バージョン情報】

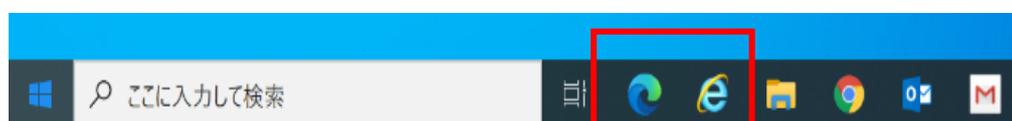
- 最近、Internet Explorer ではブラウジングできない新しい Web ページが出回っています。それらを、ブラウジングするには IE11 にバージョンアップしておくことです。IE11 の場合は、セキュリティ更新プログラムの提供があるのでひとまず安心です。
- IE8、IE9、IE10 などサポートが終了した Internet Explorer 使用は、ウイルス感染や個人情報漏えいのリスクが高い状態なので IE11 に更新するか、Microsoft Edge、Google Chrome など、他ブラウザへの移行を早急に行っていただくことを強くお勧めします。
- **リッチコンテンツ**※は、すでに Internet Explorer ではサポートしていない最新技術のコンテンツですが、Microsoft Edge で利用できるようになっています。

※Web ブラウジングとは、Web ブラウザを利用して Web サイトなどを閲覧することである。

※リッチコンテンツとは、Web サイト上の、CG※やアニメーションなどの動画や音声を利用して表現された動的なコンテンツの事。

※CG とは、コンピュータを使って描いた画像の事で「コンピュータグラフィックス」の略。

- Microsoft Edge は、Windows10 のために開発された標準ブラウザです。
- Microsoft Edge は、最新の技術が使用された Web ページを早く表示でき新機能を実装する拡張機能に優れ、他ブラウザとの相互運用性も高められている点が、IE よりも優れています。
- 普段は Microsoft Edge を利用し、なかには Microsoft Edge を推奨していないオンラインサービスもあつたりしますので、IE も Microsoft Edge も両方とも、下の図のようにタスクバーにピン留めしておいて使い分けると便利です。

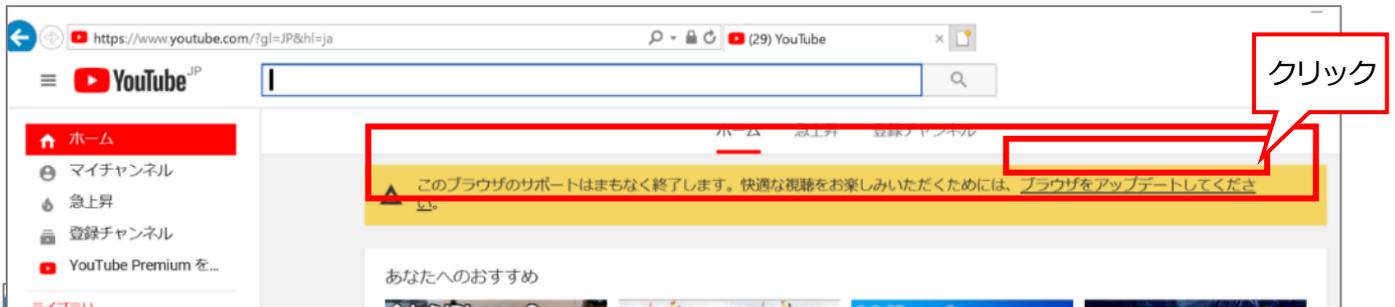


- マイクロソフトは、新しい「Microsoft Edge」を正式提供 (2020/1/15) しており互換性が強化されました。ロゴも左図のように変更されました。⇒



- 新バージョンの「Microsoft Edge」⇒ Windows Update を通じた自動更新は、**4月17日**以降(少し遅れ気味)に実施されているようです。手動アップデートもできますが、自動更新されるまでお待ちいただいても大丈夫です。(*_*)…ご参照p4の**朗報**もご参照

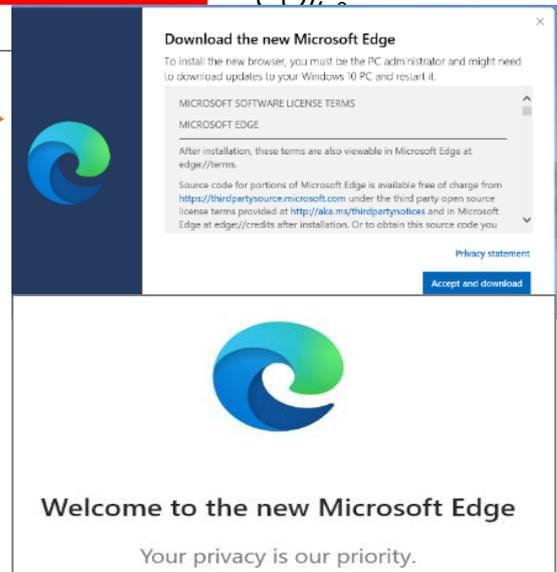
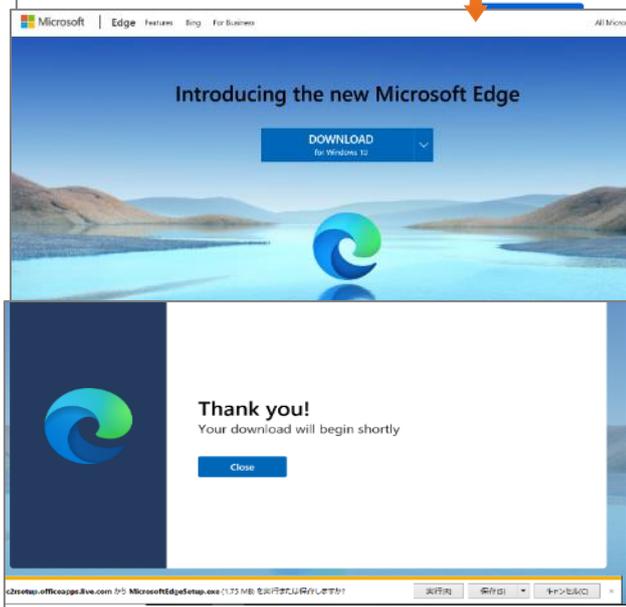
IE を閲覧したら下記のようなメッセージが…



「Microsoft Edge」をクリックしました。

←2020/02/25 夜の画像

200225 朝は  でした。



インストールした時点では英語表記です。

日本語に変更する方法

設定⇒ **Setting** ⇒ **Languages** ⇒ **Add Languages**
⇒ウィンドウをスクロールして Japanese-日本語に
チェックを入れる⇒Add をクリックし日本語を追加⇒
Restart をクリック⇒再起動⇒日本語に変更されます。

ブラウザとは : インターネットでホームページ (Web サイト) を**閲覧するソフト**の事

標準ブラウザ とは PC やスマホに最初から入っているブラウザの事をいいます。

-  **Windows** : Internet Explorer (IE) や Microsoft Edge
-  **iOS(iMac や iPhone)** : Safari
-  **Android OS を搭載したスマホ** : Google Chrome が標準ブラウザになりつつあります

ブラウザの種類

パソコン

	Internet Explorer	マイクロソフト社が開発している Web ブラウザです。 使用する Windows OS によりバージョンが異なります。
	Microsoft Edge	Windows 10 の既定の Web ブラウザ です。Chrome や Firefox、Safari などのブラウザとの相互運用性を目的に開発されています。 高いセキュリティ機能と高速な表示
	Google Chrome	Google が開発している Web ブラウザです。動作が高速でシンプルな Web ブラウザで、Google の各種サービスとの親和性が高い。
	Firefox	米国の非営利団体 Mozilla Foundation が開発するオープンソースの Web ブラウザです。
	Safari	アップル社 が開発している Mac OS 標準搭載 の Web ブラウザです。

スマートフォン・タブレット

Safari 	Apple 製品のスマートフォン、タブレットでは標準のブラウザとして搭載されています。
Chrome 	Android、iOS、などの各プラットフォーム間での設定や閲覧履歴などが同期できます。
Android 標準ブラウザ 	Android OS 4.3 ~のスマートフォンでの標準ブラウザです。 Android 4.3 以前 の標準ブラウザは修正パッチの提供が打ち切られています。

朗報 : いま、当該記事書込みの最中に、下記のようなうれしい **朗報!** が入りました。

内容 : マイクロソフト「**New Edge**」は「**Google Chrome**」ベースで **互換性が強化**され、今後、マイクロソフト系のユーザーへの**利便性が飛躍的に高まる**こととなった。

効果 : **Google**(=アルファベット)独自開発のブラウザの **Google Chrome** を、5月に入り、マイクロソフトの **Chromium 版 Edge(New Edge)**として使用することを全面的に認めるとの協動的な、**ビッグ ニュース**。

背景(1) : 従来、**グーグル**(アルファベット)と**マイクロソフト**(M社)は、**セキュリティ最前線**の運用に関して**熾烈な開発競争**を展開してきたが、世界に広がる**サイバー攻撃の手口が年々高度化**の対応策として、**IT 業界や資本主義国**のバラバラな対応では、**既に限界!**にあるとしている。

例えば、

攻撃側は1のコストで済むのに対して、守成側は、その対処に10倍、内容によっては100倍も要する。守成する側の物理的コストもさることながら、人的にも多大なコストと時間をかけても治まりはない…との点が大きいと云われている。主たるサイバー攻撃側とは、一体、どこ?の…だれなのか?…

背景(2) **日本の多くの企業・国家組織においても、セキュリティ運用の現場が非常に厳しい状況**にあり、世にいう「**GAFA**」+**M社**などの集団が、諸々のサービスのプラットフォームになっている一方、市場での公平な競争を阻害するとの声もある矢先、この両者が競争と協調を図り、**サイバー攻撃集団への対処**に踏み込んでくれるのであれば、大変ありがたい事ではあるが、今後の動向が気になるところである。

背景(3) **Google**は **Google Chrom** ベースの新しい **New Edge** で「**Chrome Web ストア**」で拡張機能のダウンロードに入ると、マイクロソフトの **New Edge** への切り替えが可能との表示を出しており、続いて **Google** 自体のトップページでも同様の協調メッセージを表示していることが判明した (^_^)

脅威 : **サイバー攻撃**の一例 (下記項目は、**Ctrl キー+ クリック** で開くことができる)

① 豪雨や地震で人の善意につけ込む「偽メール」の卑劣さ

② サイバー攻撃、対策急務 インフラ防御に懸念

https://mainichi.jp/articles/20200427/ddm/003/040/114000c?cx_testId=79&cx_testVariant=cx_2&cx_artPos=8&cx_type=contextual#cxrecs_s

③ 今日、ITなくして一日たりとも業務が成立する職場はないだろう。メールの送受信、顧客や製品…

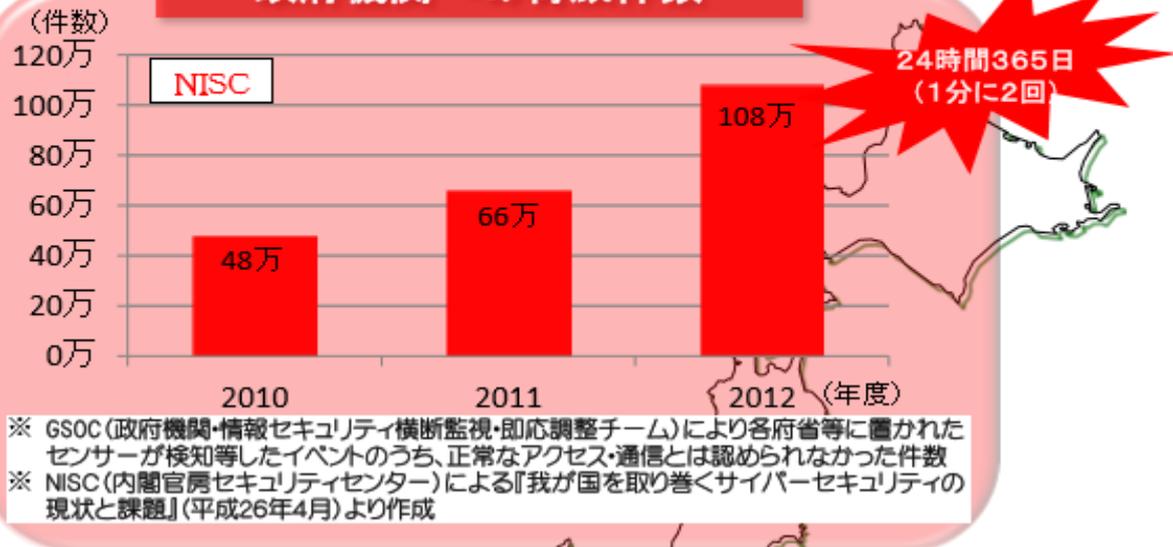
<https://mainichi.jp/premier/business/articles/20180516/biz/00m/010/006000c>

④ 「中国がワクチン開発データの窃取図る」米が警報発令と報道

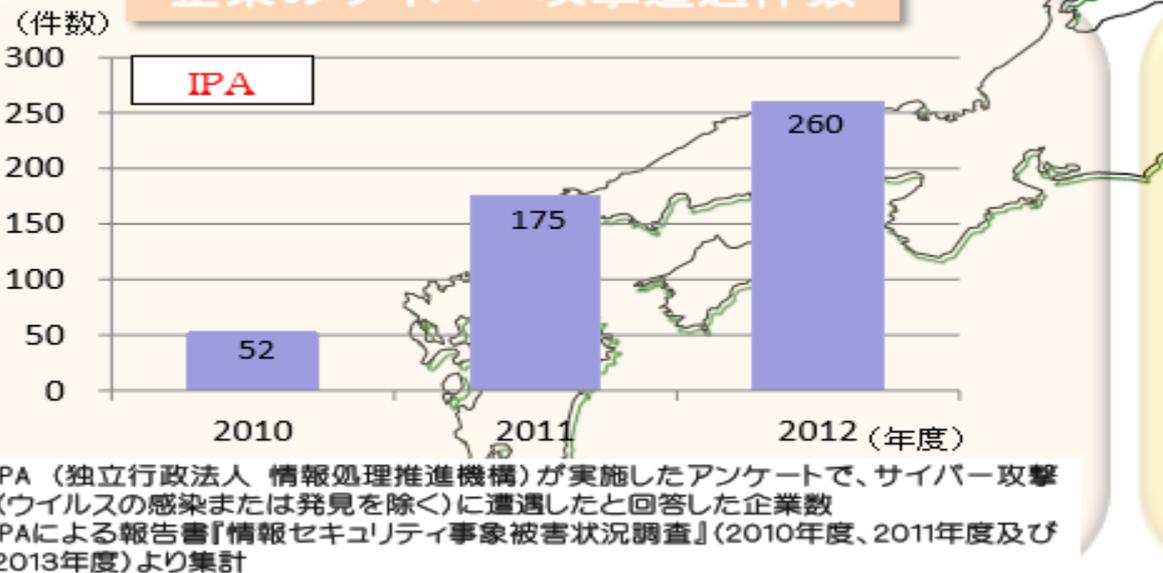
https://www.sankei.com/world/news/200512/wor2005120015-n1.html?utm_source=newsletter&utm_medium=20200512&utm_campaign=20200512&utm_content=news

サイバー攻撃の件数の推移

政府機関への脅威件数



企業のサイバー攻撃遭遇件数



2019 順位		前年 順位
1位	仮想通貨の盗難、詐欺の拡大	新
2位	巧妙化する標的型攻撃による被害の甚大化	2位
3位	家庭用のIoT機器のセキュリティ不備によるプライバシー侵害の更なる拡大	3位
4位	ビジネスメール詐欺被害の更なる深刻化	6位
5位	働き方改革の推進普及による新たな脅威の発生	5位
6位	時代遅れとなりつつあるパスワード認証	新
7位	GDPRを乗り越えても残る諸外国のプライバシー規制リスク	10位
8位	高度化するランサムウェアによる被害拡大	1位
9位	問われるサイバーセキュリティ経営の責任体制	新
10位	クラウドバイデフォルトの情報セキュリティ体系化	新

(出典) JASA (2019) 「情報セキュリティ十大トレンド」 を基に作成

サイバー攻撃について 日本マイクロソフト(MS)が 12 日発表

日本企業がサイバー攻撃、年間 1 社当たり 経済損失は 平均 37 億円になると公表した。内訳は、

- ①生産性の低下や修復費用といった直接費用が 5 億円、
- ②顧客企業が他社に乗り換えるなど間接費用が 14 億円、
- ③その他の誘発コストで 18 億円。

「新たなサイバー攻撃が次々発生。リアルタイムにデータを集められるかが課題」と指摘した。
日本国に対するサイバー攻撃は、防衛省/財務省など、多大なるも国家は損害額を公表していない。

日本国のセキュリティ対策は遅れており、官民挙げての強化が急務。

中国の産業育成策「中国製造 2025」～「製造最強国 2049」が掲げる「航空・宇宙設備」など
中国ハッカー集団 APT10 が、主要 10 分野の重要産業を攻撃対象としているとされる。

米司法省は 18 年 12 月、ハッカー集団 APT10 が、日欧主要 12 カ国に拠点を置くか顧客を持つ
企業のコンピューターに不正アクセスし、知的財産やビジネス情報を盗み、中国の情報機関に提供
など、したとして、中国人 2 人を訴追し、中国国家安全省との「国家ぐるみ」だったと非難した。

参考：

Google 対 Microsoft の将来展望 (IT 業界米調査会社 Gartner 社：20/04/21)

Google [Cow boy・狩猟型]	Microsoft [客室乗務員型・農耕型]
情報の民主化	テクノロジーの民主化
20 億人の次世代ユーザの取り込み	規則的な企業成長
何者にも運命を支配する機会を与えない 例：OS etc.,	次世代アプリケーションのための プログラミングの定期と提供
急進的な革新	収益基盤の劇的拡大・検索収益
クラウド	クラウドと自社運用益
非対称戦	永続性

※アルファベット=Google の YouTube を含めた経営組織再編後の 持ち株会社名

(了)